



『新宿力』で創造する やすらぎとにぎわいのまち新宿

令和2年第1回区議会定例会
新宿区長定例記者会見資料
令和2年2月10日（月）

事業名	地区計画等のまちづくりルールの策定	予算（案）の概要	112 ページ
予算額	令和2年度予算額 （前年度予算額）	45,819 千円 20,661 千円	（拡充）
取材先	総合政策部 企画政策課長 大柳（電話 03-5273-3501） 都市計画部 景観・まちづくり課長 中山（電話 03-5273-3549）		

地域の特性を活かした 「令和のまちづくり」

～回遊性と利便性の向上による、魅力的で歩いて楽しいまちづくりを進めます～

1 補助第72号線の開通を契機とする 駅周辺のまちづくり

新宿駅周辺地域のまちづくりの動きが活発化する中、今夏、補助第72号線が開通します。新宿駅から北に位置する、まちづくり推進エリア（高田馬場駅周辺エリア、大久保・百人町エリア）においても、地域の課題解決に向けた、新たなまちづくりに着手します。

① 高田馬場駅周辺エリア ～賑わいとユニバーサルデザインのまちづくりの推進～

高田馬場駅の東側において、地元が主体となり「高田馬場駅周辺地区まちづくり構想案」を平成30年12月に策定しました。令和2年度からは、「まちづくり長期計画」を踏まえ、駅の北側や西側も含めた、さらに広域的な範囲でまちづくりの検討を開始します。

まちづくりの目標

バラエティ溢れる魅力が混ざり合い
パワーとなるまち・高田馬場

（出典：「高田馬場駅周辺地区まちづくり構想案」）

- 安全な駅舎の整備
- 駅とまちをつなぐ機能の強化
- 十分な広さの駅前広場の確保
- 多文化交流拠点・高田馬場のシンボル広場の創出 など

今後のスケジュール

地元・鉄道事業者・学識経験者・行政によるまちづくり検討組織を設立し、駅を中心とした、広域的なまちづくりの検討に取り組みます。

R2年度

まちづくり検討組織の設立

R3年度～

（仮称）高田馬場駅周辺エリア
まちづくり方針の策定

具体的な
まちづくり施策の推進

② 大久保・百人町エリア ～人々を惹きつける新たな賑わいのまちづくりの推進～

大久保・百人町エリアにおいては、鉄道事業者や大規模未利用地の開発事業者等と連携し、歩行者空間の充実や防災性の向上などに配慮したまちづくりを誘導してまいります。令和元年度は、地元商店街、町会・自治会、区が連携して混雑対策の取り組みを開始しました。令和2年度も引き続き取り組んでいきます。

戦略の方向性



【①高田馬場駅周辺エリアの課題】

乗降客数が約93万人と多く、鉄道3路線が乗り入れる交通結節点ですが、駅のホームが狭く、乗り換え動線が混雑しており、バリアフリーが不十分です。駅前広場は狭く、公共交通と一般交通が錯綜しています。また、駅周辺の建物が更新時期を迎えています。



高田馬場駅前の様子

【②大久保・百人町エリアの課題】

補助第72号線の完成による街並みの変化や、人・車の流れの変化に対応したまちづくりが必要です。



混雑した歩道

【大久保通りでの混雑対策（例）】



【対策1】
巡回スタッフ

【対策2】
歩道部の分離線

○：まちづくり長期計画における
まちづくり推進エリアの範囲

2 飯田橋駅東口周辺エリアと神楽坂エリアのまちづくり

① 飯田橋駅東口周辺エリア～住・商業・業務が調和した賑わい創出の推進～

飯田橋駅の東口周辺において、地元が主体となり「飯田橋駅東口周辺地区まちづくり構想」を平成31年3月に策定しました。令和2年度からは、飯田橋駅に近接するエリアで、民間開発と連携したまちづくりを進めるための検討を開始します。

まちづくりの目標

(出典：「飯田橋駅東口周辺地区まちづくり構想」)

飯田橋駅東口と周辺のまちづくり 使いやすく、魅力あふれるこれからのまちづくり

幹線道路沿道のまちづくり 人にやさしく、うるおいあるまちなみづくり

暮らしやすいまちづくり 歴史を活かした、安全・安心のまちづくり

飯田橋駅東口と周辺のまちづくり

1 飯田橋駅東口周辺の再整備

- ① 地域の良さを活かした、活気あふれるまちづくり
- ② 利便性と楽しさを両立した、魅力ある拠点づくり
- ③ 地元主体で考え、関係機関等と連携しながら進めるまちづくり

2 飯田橋駅東口周辺の歩行者・交通動線

- ① 駅とまちとをつなぐ機能の強化
- ② 乗換えが誰でも簡単にできる動線の確保
- ③ 周辺との回遊性の強化

今後のスケジュール

R2年度

- ・飯田橋駅前地区のまちづくりに関する調査等
- ・まちづくり検討組織の設立

R3年度～

(仮称)飯田橋駅前地区
まちづくり方針策定

具体的な
まちづくり施策の推進

② 神楽坂エリア～路地景観の保全と防災性の向上～

令和元年度は、「兵庫横丁」において、今ある石置の路地景観の保全や建替え促進を目的とした道路幅員の変更と地区計画の変更に取り組みました。令和2年度は、「見返り横丁」と「かくれんぼ横丁」についても同様に取り組んでいきます。



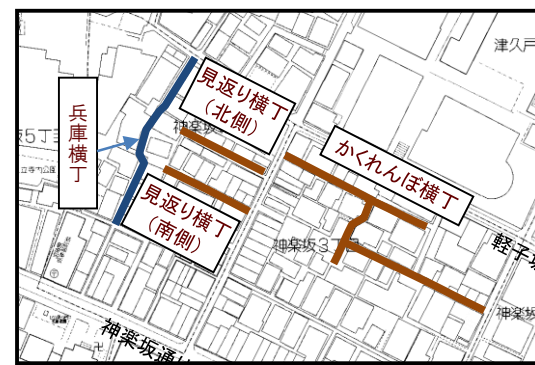
見返り横丁(北側)



見返り横丁(南側)



かくれんぼ横丁



戦略の方向性

【① 飯田橋駅東口周辺エリアの課題】

- ホーム移設に伴う駅利用者の流れの変化への対応
- 帰宅困難者対策への対応
- 建物の建替えに合わせたまちの更新への対応



① 飯田橋駅東口周辺エリア

飯田橋歩道橋のバリアフリー化、歩行者空間の整備に向けて検討

駅周辺の移動の円滑化、歩行者ネットワークの見直しを検討

沿道の土地利用の転換や、幹線道路沿道にふさわしいまちなみについて検討

② 神楽坂エリア

路地景観の保全のため、道路の幅員やまちづくりルールについて検討

【② 神楽坂エリアの課題】



- 火災の延焼の恐れや、災害時の緊急車両の通行障害への対応
- 路地景観の喪失への対応

まちづくり長期計画におけるまちづくり推進エリアの範囲